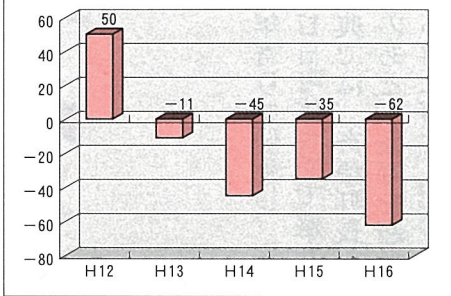


単位：百万円

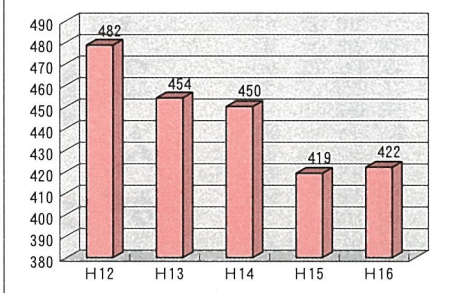
グラフ1 実質単年度収支の推移



平成16年度も赤字決算
平成16年度光町国民健康保険特別会計の決算は、歳入総額から歳出総額を差し引いた収支では、1億580万5千円の赤字となりましたが、前年度繰越金や基金繰入などを控除した、実質的な収支では6,176万4千円の赤字となりました。この赤字は、平成13年から4年連続となっており、

単位：百万円

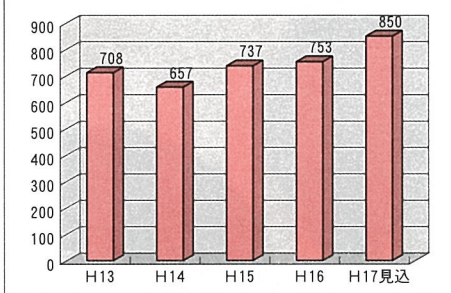
グラフ2 国保税収の推移



国保税率と税収
光町の国保税率（介護保険分を除く）は、近隣市町村が数回の税率改正を行ってきたなかで、国庫補助金の獲得や収税対策などを積極的にを行い、平成9年度以来改正せずに維持してきま

単位：百万円

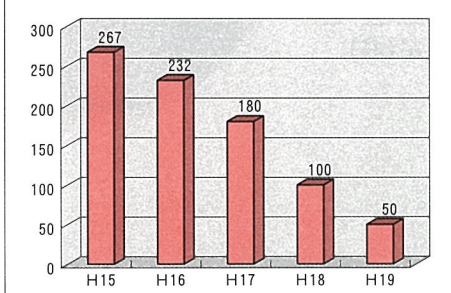
グラフ3 医療費の推移



増え続ける医療費
一方、医療給付費（医療費）は、年々、増加傾向を示し、特に今年度は、前年同期を大幅に上回る額で推移しており、現時点では、

単位：百万円

グラフ4 基金残高の見込み



基金の取り崩し
急激な医療費の増加や収入の不足などに対応するため、国保会計にも基金があります。平成19年度までの財政見通し（光町が単独で国保会計を運営した場合）では、多額の収入不足が見込まれるため、税率の改正と基金の取り崩しを併せて行う必要があります。基金の高は激減してまいります。基金がなくなると、収入の不足分は税率の引き上げによって、全額を確保しなければならなくなります。（グラフ4参照）



前年度を1億円程度上回る見込みとなっています。（グラフ3参照）

基金の取り崩し

医療費の節約を

保険者（町）は、被保険者（町民）の命と健康を守るため、被保険者が安心して必要な医療を受けられるよう、健全な会計運営をしなければなりません。しかしながら、赤字続きの現況は、健全な運営とはいええず、早急に国保税率の見直しや医療費の抑制対策などによって改善する必要があります。

医療費は、被保険者一人ひとりの心がけによって節約することができま。基本健康診査や人間ドックなどによって、病気を早期に発見できれば治療期間も短く、医療費も少なく済みますが、複数の医療機関で同じ診療を受けたり、担当医の指示以上に薬を欲しがったりすると医療費は増えてまいります。

医療費の増加は、国保税率の引き上げに直結します。国保税率の引き上げをできるだけ小さいものにするためにも、一人ひとりが「医療費の節約」に心がけるようご協力ください。

問合せ 住民課国保年金班

☎ 1212

国保会計がピンチです